

# CLOSE UP

## 魅せた！自慢の快速！



この日は疾風のごとく右サイドを駆け上がる永井健太の姿があった。開幕戦ではFWとしてスタメン出場も本人が「最悪」と語るように持ち味を発揮できずに後半退いた。そして今回、右サイドハーフで起用されると自慢の快速で幾度となく右サイドを突破した。センタリングの精度など課題はまだまだありそうだが、彼の再三の突破が駒大に勢いをもたらしたのは間違いない。「今日はアシストも決められたし、とりあえず最高です。次もガンガン行きます」。疾風のドリブラーに今後も注目だ。



▲永井の再三に渡る突破が駒大に勝利を呼び込んだ。これからも永井の突破力は駒大の武器となるだろう



ディフェンス陣は鈴木(右)、桑原(左)を中心に最後まで集中を切らさなかった。完封は自信となったことだろう

4月20日 14:30 夢の島陸上競技場  
**駒大 1(0-0)0 中大**  
 (4位・4) (8位・0)

得点者(アシスト)

【駒】54分:中田洋介1(永井健太1)

KOMAZAWA	CHUO
GK①牧野利昭(2)	GK①植村 慶(4)
DF②栗原建次(3)	DF②柴村直弥(3)
DF⑤鈴木祐輔(3)	DF③杉本康介(3)
DF②桑原 靖(2)	DF⑥天羽良輔(2)
DF③筑城和人(1)	DF⑤田村雄三(3)
MF⑥中後雅喜(3)	(80分)⑩飯室綾太(3)
MF⑩橋本早十(4)	MF③太田康介(3)
MF⑩永井健太(4)	MF⑩石原紀人(4)
(80分)③巻 佑樹(11)	MF⑦伊藤大伸(4)
MF④小林 亮(3)	MF⑤佐々木健治(2)
FW⑨赤嶺真吾(2)	(88分)大久保雄史(4)
(68分)⑦田中信成(4)	FW②安桂一郎(4)
FW⑩永井健太(4)	FW①大柿政治(4)
S U B	S U B
GK②太 洋一(3)	GK③植前太郎(3)
DF⑥大澤陽介(3)	DF⑨平松大志(2)
MF③廣井友信(1)	MF②小笠原正樹(3)
MF①中嶋裕太(3)	MF⑧頼母木勇太(2)
FW①関 光博(3)	FW⑨高井進吾(4)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	山口芳忠

警告(C)/退場(S)

【駒】23分:中後(C)、42分:筑城(C)、57分:筑城(C)、57分:筑城(S)、69分:永井(C)  
 【中】25分:杉本(C)、45分:石原(C)、56分:佐々木(C)、76分:太田(C)、90分:安(C)  
 [シュート]13:9[枠内シュート]5:2[決定機]9:2[CK]6:17  
 [CK]10:2[PK]0:0[直接FK]23:16[間接FK]4:3[OS]3:3  
 [支配率]52%:48%[主審]武田 進[観衆]約450人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機、支配率は本誌記者による記録



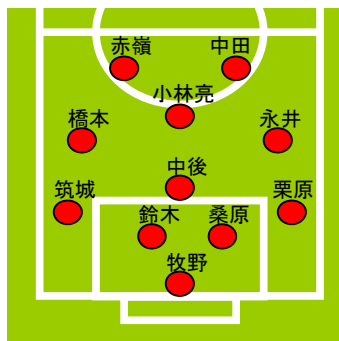
▲この日、トップ下で起用された小林亮



▲57分、筑城(右)は2枚目のイエローカードで退場



▲GKの牧野(左)が不用意なボールキープからボールを奪われピンチに。得点にはならなかったものの、あわや同点にされるかというシーン



「つらい試合だっただけに勝ててめちゃくちゃ嬉しいです(永井)、「めっちゃめっちゃ嬉しいですね。今日はチーム一丸となって勝てたという気がします」(牧野)と試合後イレブンが喜びを爆発させた。過去3年間、中大に対して駒大は0勝3敗1分と分が悪く、相性の悪い相手とされていた。しかし、今回はそれを全く感じさせない内容での勝利。開幕前に中田が語っていた「自分たちは横綱相撲など出来ない。どのチームにも挑戦者の気持ちで戦いたい」というそのままの試合内容だった。王者だとは思えないくらい必死にボールを追いかけて、球ぎわでも決してあきらめることなくプレッシャー続けた。だが、それは去年までの駒大の姿であり、駒大サッカークラブの原点である。「中田が積極的に声を出してくれて、チームは本当にいい雰囲気です」(永井)というようにチームは徐々にいい状態になってきている。だが、メンバーの力が最大限に発揮されているかという疑問が残る。次節、その力が爆発するの注目である。(湯ノ口)